

城東むかし町家



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	じょうとうむかしまちや
所在地	津山市東新町
指定年月日	平成9年5月7日
解説	幕末から昭和初期にかけて栄えた商家、梶村家の旧宅。間口8間半、奥行7間の大規模な主屋は、江戸時代末期に建てられ、明治時代に入って、主屋の背後に付属家屋が一体的に造られた。大正時代には、二階建入母屋造の座敷、ドイツ壁仕上げの洋館・裏座敷、東蔵と呼ばれる伝統的な棧瓦葺切妻造の土蔵が建てられている。さらに、昭和初期に東蔵と並んで西蔵と、中庭を望む入母屋造の茶室が加わった。主屋の西側に表門を構えた塀に囲まれ、各時代の生活様式の変化に対応した改造・増築を重ねた複合的な町屋であり、日本の建築の歴史を物語る貴重な建造物である。
アクセス方法	津山市内循環ごんごバス「天神橋」バス停から徒歩3分
公開状況	入館9:00～16:30, 無料, 休館:火曜(祝日の場合は翌日), 問合せ先:0868-22-5791
設備	トイレ  駐車場 
備考	